

平成15年度 文学部 授業計画表[syllabus]

科目名 環境教育論 (英文名) Environmental Education	2単位 (秋 期)	(ふりがな) いわま ひろし 担当者 岩間 浩 e-mail iwama@kokushikan.ac.jp
授業のねらいと概要: 地球的規模での環境の悪化によって、(1)近代文明のあり方に転換が求められ、(2)国境を超える視点が要請される。そこで本講は、教育において人間中心的ではなく地球環境や生態系に配慮する人物、地球的視野で考え行動する人物の育成が緊要であるという観点からすすめられる。中～後半に学生のグループ又は個人による口頭発表(関心のある環境問題、環境教育問題に関する)が行われる。		
教科書: 岩間浩編著『環境教育講義資料集—かけがえのない地球と子どもたち—』(オリオン出版、1000円)		
参考図書:		
評価法: 秋期試験(無し)、レポート(有り)		
具体的評価方法等: レポート及び授業への参加状況(口頭発表を含む)により評価する。		
オフィスアワー: 後日明示、14号館1F初等教育教材準備室または12号館519室		
【授業計画】		
回 数	講 義 テ ー マ と 概 要	
第1回	イントロダクション (あなたにとって環境問題とは)及びビデオ「12歳少女が残した地球へのメッセージ」鑑賞	
第2回	口頭発表のあり方について 及びビデオ「未来への約束」鑑賞	
第3回	地球環境問題の国際会議、さまざまな環境問題 (ケーススタディ:レイチェル・カーソンと『沈黙の春』)口頭発表の調整	
第4回	環境問題のあり方の原則 (ケーススタディ:シーア・コルボーンと環境ホルモン)口頭発表の打ち合わせ	
第5回	学校緑化について (ビデオ「木を植えた男」) 及び口頭発表打ち合わせ	
第6回	問題解決のためにどのような方法があるか (総合的方法と参加方式) 及び各自の研究発表	
第7回	環境教育の目的は何か 及び各自の研究発表	
第8回	環境教育の目的は何か 及び各自の研究発表	
第9回	環境教育のすすめ方はどうするか 及び各自の研究発表	
第10回	各自の研究発表	
第11回	各自の研究発表	
第12回	各自の研究発表	
第13回	各自の研究発表	
第14回	各自の研究発表 レポート提出	
	(注) 1. 学生の口頭発表による参加型学習を心掛ける。 2. 各自が環境問題について調べ発表し、レポートにする 3. 視聴覚教材の活用を心掛ける。 4. 口頭発表のテーマに添って一部テーマが調整されることがある。 5. 前もって口頭発表の仕方について学ぶ。	